

「感染の予防に努めよう！」～手洗いをしっかりと行おう～

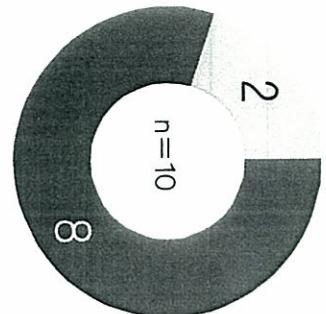
社団法人益田市医師会立 益田地域医療センター・医師会病院
益田市医師会職員保育所 藤江小百合

1. テーマ選定理由

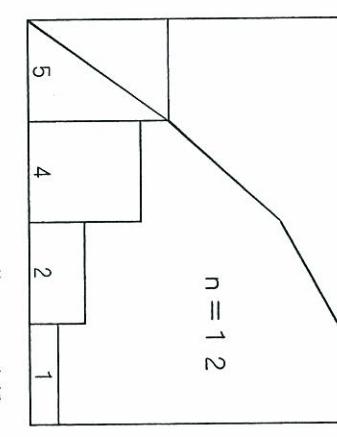
- さくらんぼ保育所は、平成18年4月に益田市医師会職員保育所として開設され、1年8ヶ月を迎えるました。職員もパートを含め10名（平成20年4月時点15名）が不規則勤務の中、日々子供達と関わっています。開設当初は利用される子供さんも少なく、遊具や玩具も十分になかったため、天気の良い日は戸外に出し日光消毒を行いながら衛生面に注意してきました。しかし、現在は利用人数も増えてきており、利用される年齢も0歳児～1歳児が中心となり、「玩具」や「手」を口の中に持っていく姿を多く見かけています。玩具も増え、日々の衛生管理にも不安に感じながら対応をしています。保育所生活の中で、最初の「感染防止対策」として何が有効か考えていくと、このテーマに取り組むこととしました。

●図1. 平成19年10月後半～11月中旬の期間に感染症にかかった人数

●図2. 感染源として疑われるものはなんですか？



●図3. □の中に入れるものは何がありますか？



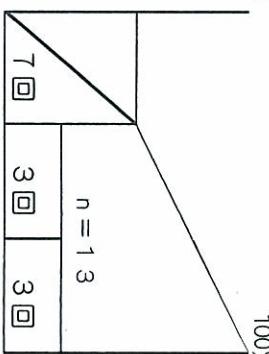
サークルチーム名			
さくらんぼ サークル			
(2007年 12月結成)			
リーダー氏名 (職種)	藤江 小百合 (保育士)	所属部門	その他(保育所)
リーダー経験年数	6ヶ月	QCストラーデ	問題解決型
メンバーの数	計 4名 うち 男 2名 うち 女 2名	活動内容	安全
			テーマ履歴 (このテーマで) 1件目

2. 現状把握 <玩具について>

●図4. □にする可能性のある玩具は?

(1週間で何回使用しますか)

13



●玩具の消毒方法

・普段

・嘔吐があったとき

ビビゾフトをふりかける → 2回／1W
ミルトンにひたす → その都度

●表1. 玩具の細菌培養の結果

玩具名	検査結果
ボール	5個
ブロック①	(一)
ブロック②	(一)
ブロック③	4個
ままごとセット	(一)

Staphylococcus intermedium (グラム陽性球菌)
検出されず
Staphylococcus hominis (グラム陽性球菌)
検出されず

－考察－

ほとんど菌が発見されず、清潔な状態と考えられる。(臨床検査技師からも、適正な消毒ができている)

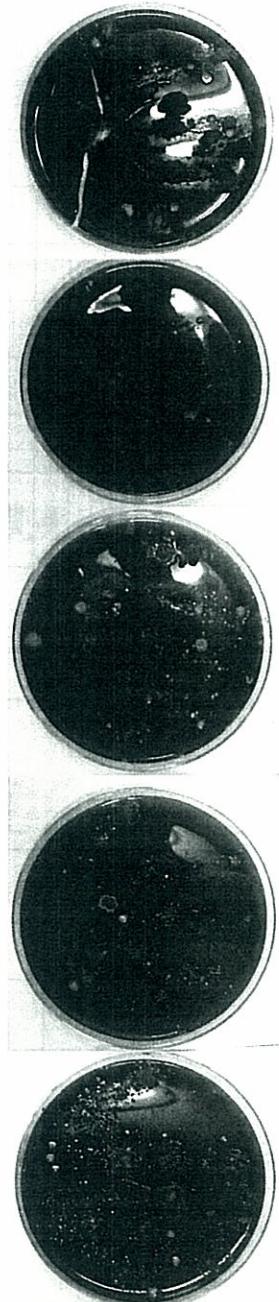
＜手洗いについて＞

●手洗いは、いつ行っていますか?

- ・朝、登園時
- ・トイレ時
- ・食事・おやつ前
- ・散歩から帰ったとき

等に手洗いを実施

－図7. 子供達の手の培養検査－



－図8. 保育士の手の培養検査－

－考察－

検査を行った、8名全員に菌(グラム陽性球菌)やカビが発見された為、手からの感染が疑われる。

(検査技師より、
数を数える気にならない…)

作成日:1月 10日 作成者:藤江

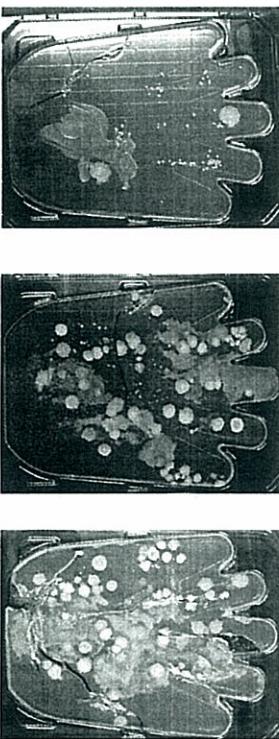
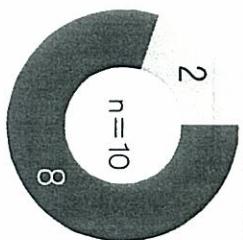
●図5. 玩具を口にする児童 (0歳児)

常時利用 : 8人

スポーツ利用 : 2人

(計: 10人)

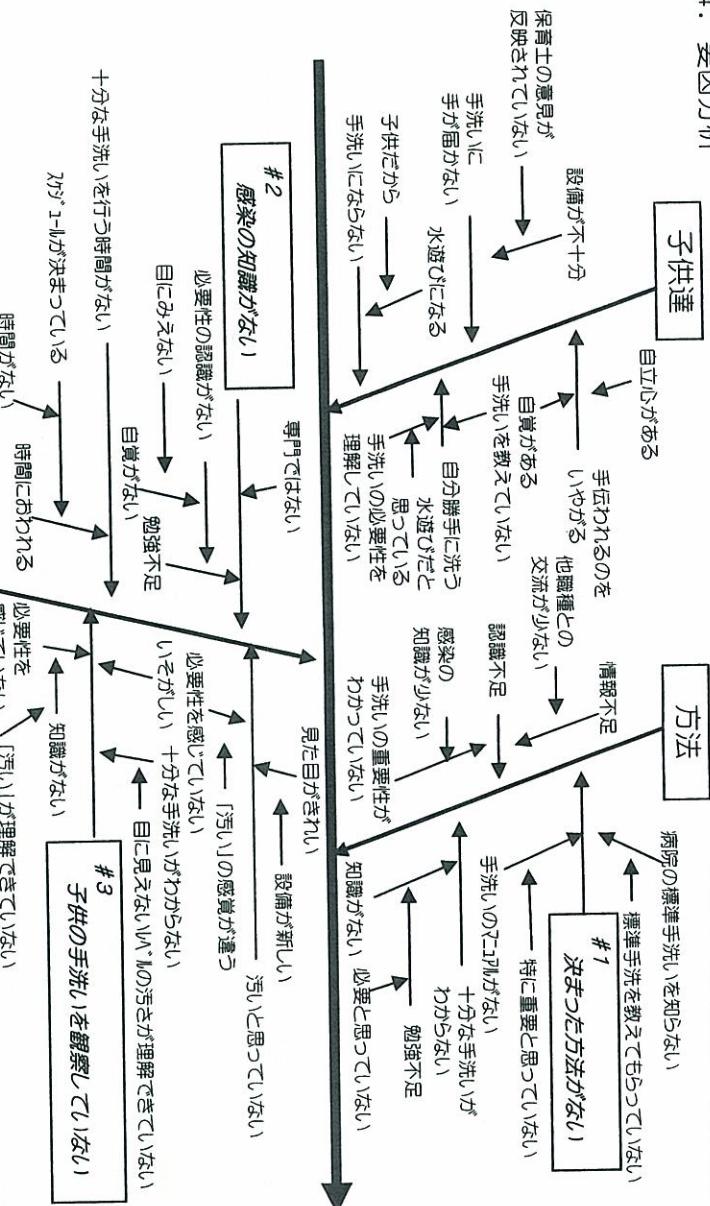
●図6. 0歳児の中で嘔吐・下痢症状発生したのは



3. 目標設定

何を	いつまでに	どうする	なぜ
子供達の手洗い	3/31までに	きちんとした手洗いを身につけさせる	子供達の衛生管理のため
保育士の手洗い	3/31までに	きちんとした手洗いをつける	保育士の衛生管理のため
※ここでいう「きちんとした」とは通過菌を可能な限り減らし、他に伝播させず洗い残しの部分がないこととする			

4. 要因分析

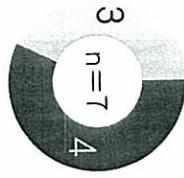


なぜ、まちで「手洗い」ができないのか?

<検証#1>

- 決まった手洗い方法がない
- ・手洗い方法を確認

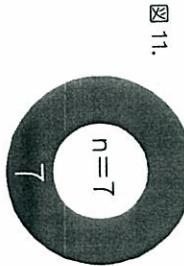
図10.



<検証#2>

- 院内の標準手洗い方法を知っていますか?

図11.

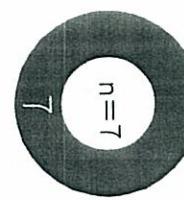


n=49

<検証#3>

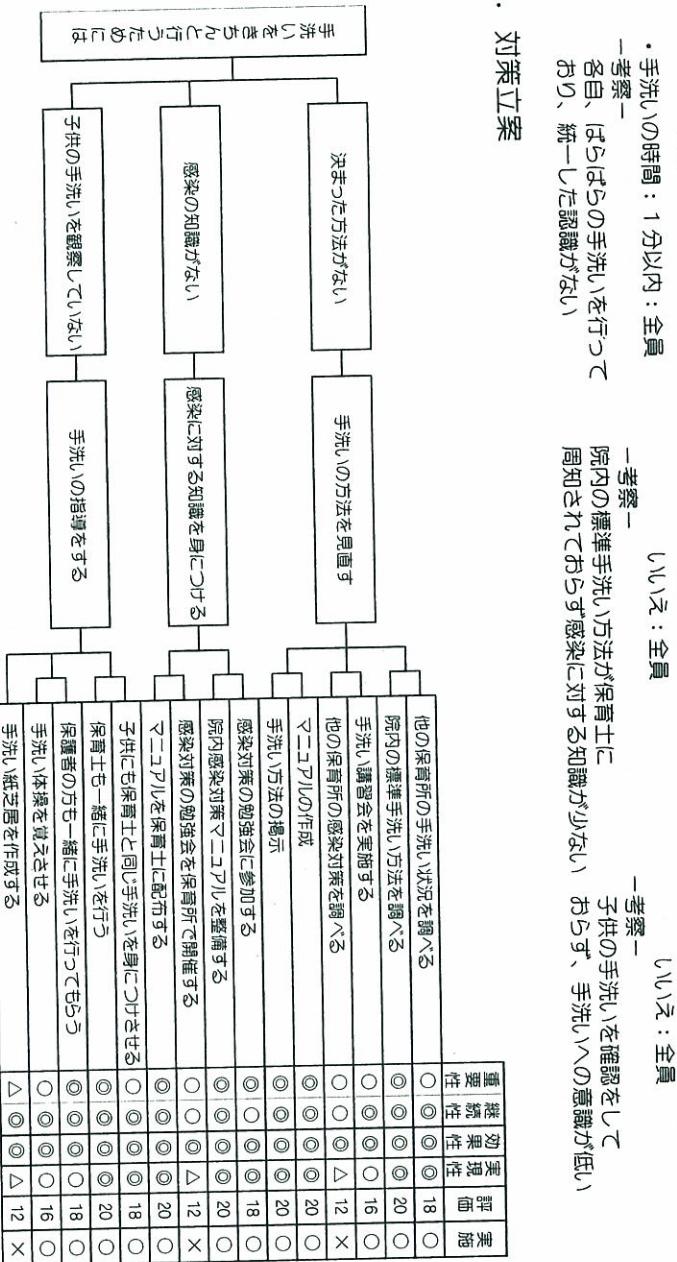
- 子供の手洗いをきちんと観察していますか?

図12.



n=49

5. 対策立案

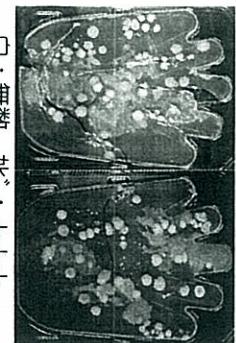


6. 対策実施

何を	誰が	いつ	どのように	結果
他の保育所の手洗い方法を調べる	高橋	4月4日までに	新入園児の以取いた保育所の手洗い方法を確認する	他の保育所の様子が参考となつた
院内の講習手洗い方を調べる	前田	3月中旬	感染対策委員に手洗い方法を教えて聞く	院内の講習手洗いが理解できた
手洗い講習会を開催する	高橋	4月7日までに	手洗いについて内部勉強会を開催する	保育士全員に手洗いの重要性が伝わった
マニコアリの作成	藤江	3月中旬	手洗いマニコアリを作成する	手洗いの標準化ができた
手洗い方法の見学	藤江	3月中旬	手洗い手順書を保育所に提出する	手を洗う際、保育士も子供も確認できるようになった
感染対策の勉強会に参加する	新入園児	4月1日	感染対策委員会主催の勉強会に参加する	感染対策の重要性が理解できた
院内感染対策マニコアリを整備する	藤江	3月中旬	感染対策マニコアリをコピーして保育所に整備する	院内標準の感染対策が理解でき、保育士全員に手洗いの方法が確認できた
マニコアリを保育士に配布する	藤原	3月中旬	手洗いマニコアリを保育士に配布する	手洗いの標準化ができた
子供にも保育士と同じ手洗いを身につける	前田	4月7日までに	子供にも手洗い方法を教える	手を洗う際、保育士も子供も確認できるようになった
保育士も一緒に手洗いを行う	全員	3月中旬	子供と保育士一緒に手を洗うようにする	子供に手洗いへの意識が芽生えた
保護者の方と一緒に手洗いをしてもらう	藤原	3月中旬	保護者の方ごとに手洗いをする	保護者の方ごとに手洗いをする
手洗い体操を考え実践する	藤原	4月7日までに	手洗い体操を考え実践する	手洗いへの意識が芽生えた

7. 効果の確認 <有形の効果>

—図 13. 対策前— 子供達の手の培養検査



白:無数 加":+++

作成日:4月7日 作成者:高橋

ほとんど菌もカビも発見されず、十分きれいなレベルだが、指の先端や手首あたりがまだ不十分であることがわかる

目標達成率:

90%

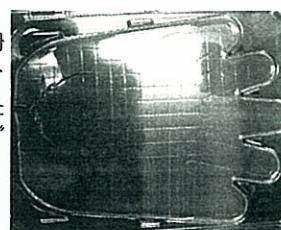
これならまあ「良し!」と、しましょう:I検査技師より

—図 14. 対策後— 子供達の手の培養検査



白:56 灰:23 加":+ 白:24 灰:84 加":-

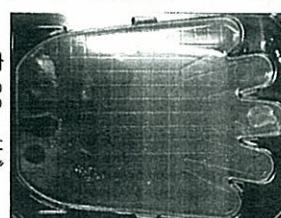
—図 15. 対策前—



白:4 加":-

白:83 加":- 白:158 加":-

—図 16. 対策後— 保育士達の手の培養検査



白:4 加":-

白:83 加":- 白:158 加":-

(手の甲と平の境目をもう少し洗うと完璧です！: I 検査技師より)

- <無形の効果>
 - 子供達と一緒にきちんと手洗いができるようになった
 - 感染に対する意識が芽生えた
 - 安心して預けてもらえる環境ができた
- <付帯の効果>
 - 家族の皆さんにも、手洗いの意識が芽生えた

作成日:4月 25日 作成者:藤江

何を	いつ	誰が	どうする	なぜ	チャツ
子供達の手洗い	手洗い時	保育士が	常にチャツしながら洗う	清潔を保つため	藤江
保育士の手洗い	手洗い時	保育士同士で	常にチャツしながら洗う	清潔を保つため	藤江

8. 齢止め

作成日:4月 26日 作成者:前田

- 9.まとめ

今回、初めてのTQM活動ということで、試行錯誤を繰り返しながら何とかテーマを終了させることができました。当初は安易に玩具が汚れているのではないかと考えていましたが、とても清潔な環境・玩具が保たれており、胸をなで下ろすと共に活動の先行きに不安を覚えました。急速、活動の方向を「手洗い」に変更し、想像していた以上に「手洗い」が重要であること、病院内において目に見えないレベルでの清潔というものがどういったことなのか理解することができました。医師会の一部署として感染対策や、手洗いへの認知が足りないことで、標準予防策や独自の対策がなされている事を知り、医師会職員として身につけていかなければ感じました。今後も手洗いをきちんと行き、日常的に使用する玩具や、設備に対しても目に見えないレベルでの清潔を考えながら衛生管理を行い、職員の皆さんのが安心して、お子さんを預けられる保育所を目指して行きたいと考えています。